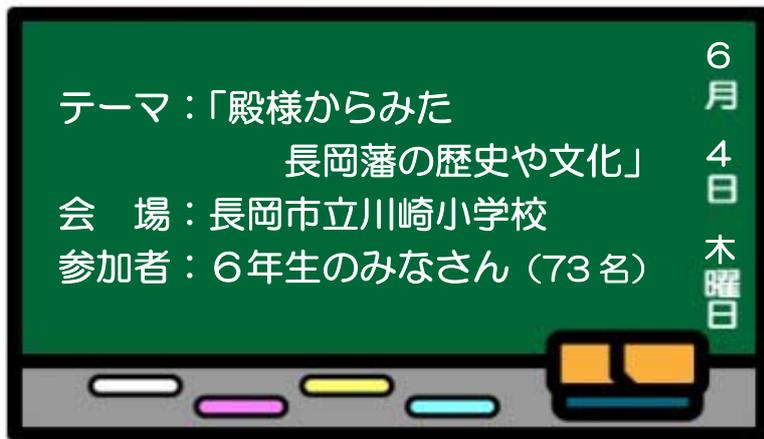


平成27年度 第1回 特別授業「ようこそ殿様」を実施しました。



川崎小学校6年生のみなさんは、この授業の後、長岡藩とゆかりの深い福島県会津方面への修学旅行を予定しています。事前学習として、長岡の歴史や文化について特別授業を行いました。授業の一部を紹介します。



【江戸時代の長岡の街並みや歴史について】

現在の長岡駅やアオーレ長岡(市役所)がある所に長岡城がありました。

そして、江戸時代の約250年間、ずっと牧野家が長岡で政治を行ってきました。同じ家の殿様が続いたことは、全国的にも珍しいことでした。

【11代牧野^{ただゆき}忠恭公と家臣について】

長岡藩牧野家から3人の殿様が江戸幕府の最高職「老中」になり、そのうちの1人、忠恭公^{ただゆき}には、「河井継之助」や米百俵の精神を唱えた「小林虎三郎」、北越戊辰戦争後長岡の町を復興させた「三島億二郎」などの家臣がいました。この3人の家臣の名前は、みなさんも何度か耳にしたことがあると思います。

【会津への思いについて】

北越戊辰戦争で長岡藩は、会津藩の武士たちと共に一生懸命、西軍と戦いました。しかし、長岡藩の山本^{やまもとたてわき}帯刀隊長と43名の藩士は、9月9日に戦死してしまいました。会津若松市飯寺^{いいでら}にある本光寺^{ほんこうじ}では、この時に戦死した藩士とそれ以前に会津で亡くなっていた河井継之助のための法要が毎年9月9日に行われており、私も出席しています。会津の方々「長岡藩士殉節顕彰会」という会を作り、147年経った今でも戦死した長岡藩士を供養してくださっていて、会津の方々の優しい気持ちに大変感謝しています。

みなさんも修学旅行で行った時には、会津の方々の優しさを忘れずに、感謝しながらお参りを来ていただきたいと思います。



長岡の殿様と言えば牧野家。そのご子孫である牧野名誉館長からは、この他にも牧野家に伝わる資料や將軍徳川家とのエピソードなど、殿様ならではのお話も聞くことができました。

長岡の歴史にまつわる新しい発見ができたのではないのでしょうか。

担当：科学博物館